

疎播疎植ペースト2段施肥栽培技術の特徴

	慣行栽培	疎播疎植ペースト2段施肥栽培		
播種量 (/箱)	140g	140g	100g	65-80g
データ数 (n)	3	5	4	15
栽植密度 (/坪)	60株	37株	37株	37株
肥料種類	緩効性肥料	尿素水 (N ウォーター-MAXX)		
施肥N量 (/kg)	7.0	10.9	6.0	10.7
①播種・育苗				
播種量 (乾粒g/箱)	140	140	100	70
種苗費 (円/10a)	1,368	681	606	426
労働時間 (h/10a)	1.18	0.71	0.73	0.58
②施肥・田植え				
苗箱数 (箱/10a)	18	10.9	11.1	8.9
運搬時間 (h/10a)	1.07	0.65	0.66	0.53
田植時間 (h/10a)	1.27	0.77	0.78	0.63
肥料費 (円/10a)	6,509	4,487	2,464	4,403
③播種～田植え				
物財費 (円/10a)	7,877	5,168	3,070	4,829
労働費 (円/10a)	7,040	4,262	4,340	3,480
合計 (円/10a)	14,917	9,430	7,410	8,309
削減効果		37%	50%	44%
収量 (kg/10a)	572	637	605	625

労働費：2,100円/h、種苗単価：545円/kg、肥料単価：4,600円/20kg<緩効性肥料>、1,400円/20L<尿素水>
N成分：緩効性肥料25%、尿素水17%

疎播 ⇒ 播種量 ↓
種苗費 ↓

疎植 ⇒ 苗箱数 ↓
種苗費 ↓
+
労働費 ↓
(育苗・田植)

尿素水 ⇒ 肥料費 ↓

省力低コスト技術のカテゴリーの中で疎播疎植ペースト2段施肥は……

＝ 育苗資材費、労働費、肥料代が削減される。環境負荷低減と収益向上が両立

(付加的要素：マイクロプラスチックを出さない、地球温暖化にも対応)

＝ **SDGsな疎植栽培**(イネの力を自然に近い形で最大限活用した地球にやさしい持続的な栽培法)

【慣行栽培に比べ、疎播疎植ペースト 2 段施肥栽培では....】

- 収量性は慣行栽培と同等、 $10 \text{ kgN}/10\text{a}$ 以上で $600 \text{ kg}/10\text{a}$ 以上可能
- 移植の作業時間はN施肥量が $10 \text{ kg}/10\text{a}$ 前後から多くなるが、8条田植機では同等
- 疎植による苗箱数の低減に伴う労働費の減少、尿素水による肥料費の削減により、播種から移植に要するコストが大幅に削減
- 低収圃場ではリン酸、加里の複数年無施用により減収の可能性



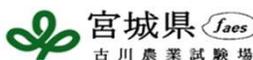
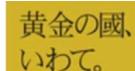
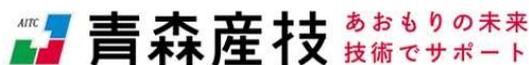
疎播疎植・ペースト2段施肥による 「みどりの稲作」プロジェクト

代表機関



(国研) 農業・食品産業技術総合研究機構

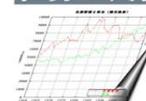
参画機関



日本一のおんせん県おおいた



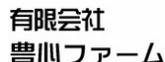
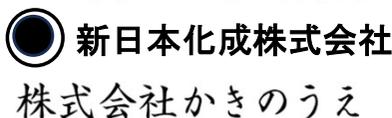
世界の食料統計



i-DCR国際食料問題研究所

大阪公立大学、岩手大学、山形大学、青森県産業技術センター、岩手県農業研究センター、福島県農業総合センター、山形県農業総合研究センター、宮城県古川農業試験場、大分県農林水産研究指導センター、(株)パディ研究所、(合)i-DCR国際食料問題研究所

協力機関



三菱マヒンドラ農機(株)、(株)石井製作所、(株)啓文社製作所、片倉コープアグリ(株)、新日本化成(株)、ヤンマーアグリジャパン(株)、(株)かきのうえ、豊心ファーム、まいすたあ、現地生産者、宮城大学、農業MOT研究会

みどりの稲作 (GIM農法) に取り組みませんか？

プロジェクト期間<R5~R8年>

- 「プロジェクトのアピール」
- 「普及地域の拠点化」
- 「全国展開の体制整備」

みどりの稲作コンソ参画県

「普及重点地域(普及拠点)の共有」

農研機構・大学

学術誌・広報・普及誌、学会ミニシンポへの
実証結果の迅速な公表

「疎播、疎植、2段施肥の認知・浸透」

みどりの稲作
マニュアル



現地実証圃

導入展示圃

要望現地

三菱農機、ヤンマーAJ

<ペースト田植機ユーザー>

→ 各県と情報共有(任意)

→ 普及エリアのネットワーク化

→ フォローアップ体制の整備
(普及資料の提供、ペースト社員研修、
実証報告会の開催)

プロジェクト後

- 「先行地域のフォローアップ
+ネットワーク化→定着化」
- 「全国的な普及展開」

みどりの稲作コンソで課題の共有克服+協力機関の追加

「みどりの稲作研究会」

疎植ペースト2段施肥の技術向上と普及促進

要望現地

要望現地

要望現地

各県普及員、JA営農指導員

「技術の定着、地域ごとのカスタマイズ」



みどりの稲作ハンドブック

新規参画県

三菱農機、ヤンマーAJ、
他農機メーカー

現地実証圃

普及展示圃

要望現地

<メディアPR>

- ・農業新聞、Web雑誌
- ・ウェブサイトでのリアルタイム
動画、プロモーション
- ・ペースト肥料の脱CO₂の取り組み